

麻生多摩美の森だより

第6号 2004年9月30日発行 発行；麻生多摩美の森の会
発行責任者；勝田 政吾 編集者；木村 信夫

金程小3年生の“総合的な学習”、麻生多摩美の森で実施

実施のあらまし

副会長 長澤 宗幸

5月28日、麻生区市民健康の森へ、栄井先生と高田先生に引率された金程小3年生の65名が、バスを乗り継ぎやってきました。

<麦の勉強> 3種類の麦について、名前当てクイズを行いました。大半のグループが大麦と小麦を取り違え。その後、大麦、小麦、ビール麦の区別について学習をしました。

<山の探検> 4班に分かれて森の中に入り、いろいろな木、昆虫、鳥、野草など森の生物について観察し、生徒たちは緑の尊さを感じ、特にハナイカダに感銘したようでした。

<お楽しみ分科会>

木の葉スタンプ作り；森でスタンプに適した木の葉を探し、それに色付けして色紙にペタッ。男・女生徒が多数参加し、オリジナルのポストカードやシオリを楽しく作りました。

木登り体験；広場近くの3本の木で、木登りに挑戦。注意事項を聞いたあと、日ごろやったことのない女子生徒も負けずに登り、怪我もなく無事終了しました。

竹馬作り；自分たちで切りだした竹に足すけ部をくりつけ、2本の竹馬が完成、皆で乗ってみました。竹を切ること、縄を結ぶことなど大変でしたが、全員が竹切りは出来ました。

以下、お礼状と感想文の一部を紹介します。

森での学習を終えて

金程小学校 教員 栄井 啓子

今年、3年生を担当するにあたり、腕白ざかりの児童にたっぷり自然を楽しませたいと思い、この地域に残された緑“くじらの森”を考えましたが、児童の利用にはまだ時間がかかるとおもわれました。

そこで、少し離れていますが、実績のある、「麻生多摩美の森の会」をお願いして、自然の楽しみ方を学び、自然を考える土壌を作れる活動ができないか思いました。

子供たちは、麦の話、森巡り、そして木登り、竹馬作り、葉っぱのスタンプなど大いに楽しみ、初めて実物を見た花や木々に心を躍らせたようでした。

3年生は“総合的な学習”が始まる学年で、いろいろな体験の中から興味、関心を高め、自分でもっと知りたい、もっと調べたい事柄について取組んでいく活動になります。

その点から見ると、自然をもっと楽しみながら知識を広げられるように、例えば草花を使った遊び（葉っぱの手裏剣、タンポポの水車、オオバコの綱引き、勲章になる植物探しなど）や、木にロープをかけて遊ぶなど体を通した遊びのように、ネーチャーゲームをたっぷり教えていただけるといいなと思いました。

多摩美の森はさいこう！

3年1組 M君

麦やいろんなことがわかった上、竹のコップをつくりました。すなのしたに、かぶとむしのようちゅうをみつけ、かんがえていたより太いと思いました。木もふつうのよりも、太かったです。いくまえにそこがどのくらいの広さか自分の心の中でそうぞうしていました。そしていったときは、すごくでかいなーと、いとうくんとはなしました。

だから、またいきたいです。

それに、たべられるはっぱがあると、知りませんでした。それにはっぱのまんなかから花がさく木があるというのも知りませんでした。どうもありがとうございました。

すてきな自ぜんをありがとう

3年1組 Kさん

この間は、ありがとうございました。

私は竹で作ったコップと小むぎ、二じょうむぎ、大むぎはとても大切にしています。今ではたからものです。

ふれあいの森にはめずらしいウグイスや日本タンポポもあって、とてもかんどうしました。

わたしは歩いているとちゅうでてんとう虫を見つけました。それはナナホシテントウムシで、とてもかわいくって、家までつれていっちゃおうかなと思ったけれど、かわいそうだったので、にがしてやりました。

わたしはふれあいの森に行くととてもよかったなと思います。こんどまた行ってみようと思っています。本当にすてきな思い出をありがとうございました。



多摩美の森のみなさん

3年2組 Oさん

金曜日はどうもありがとうございました。竹を切ったり、森をたんけんするのが、とてもおもしろかったです。森をたんけんして、サクラの木やソバの花、麦畑、竹をみました。ソバの花ははじめて見たので、「ソバの花ってこんなふうなんだな」と思いました。

おたのしみの時間には、竹馬をつくったり、竹を切ってコップをつくりました。

のこぎりをつかったのは、はじめてだったので、自分の力で切れるだろうかと思いながら切りました。さいしょは、おじさんたちに手つだってもらいましたが、さいごくらいには自分で切れるようになりました。多摩美の森へまた行ってみたいです。



藤棚作りの記・その3

大塚 伊四郎

上棟の3月24日午前中は一時日射しもある曇りで、午後は雨でした。

朝から柱と桁を組み合わせた“コの字”型の柱を東西に建て、その上に梁を3本東西に渡しました。幸い友部さんの知人はじめ散歩途上の方々4名(すべて会員外)が強力な助っ人として参加してくださり、予想以上の速さで組立てることが出来ました。この4名の方々の参加がなければ午後の雨の中での作業は必定であり、かつ無事に上棟を終了することが出来なかったかも知れません。

上棟するまでは、桁や梁に比べて4本の柱が細すぎてバランスが取れないのではないかと一抹の不安を抱いていましたが、完成してみると惚れ惚れとするよう姿で安心しました。

4本の柱の周囲には水捌けなどを考慮してコンクリートを砕いて埋め、柱がぐらつかないようにつき固めました。これらも結構きつい作業でした。

昨秋に植えた藤の株を、柱との位置関係を調整するために植え替えました。掘り起こすと根が保護袋に包まれたままで、根ぐされ寸前の状態にありました。後日、順調な芽吹きを確認し安堵しました。

その後(日時は忘却の彼方ですが)、次回の定例活動日まで待てない気の短い3名が集い、孟宗竹を桁や梁に渡しました。電動ドリルでねじ穴をあけて、長釘を挿し込んだり、棕櫚縄の仮縛りも結構の苦行でした。仕上げの棕櫚縄の本縛りは、前述の強力な助っ人の再登場で完了することが出来ました。未筆ながら改めて厚くお礼申し上げます。

(写真: 4/17、手ほどき受けて竹の棕櫚縄縛り)

「多摩美2丁目斜面地マンション」 建設反対陳情の審議報告

岡村 克彦

健康の森南入り口の斜面に計画されているマンションについては、今年2月に周辺3町会、及び多摩美みどりの会、麻生区市民健康の森の5団体で市議会に対し、「建設許可の取り消しと工事の差止め」を求めて陳情書を提出していましたが、去る8月20日に、市議会の「まちづくり委員会」(常任)で審議されました。

当日は5団体の各代表と会員の総勢20名が傍聴しました。審議は午前10時から2時間にわたり、まちづくり委員(在籍13名)と市まちづくり局の木下局長ほか担当部課長との間で、質疑が行われました。委員側からは4月23日の現地視察をもとに党派を超えて、この土地が麻生区市民健康の森や多摩美ふれあいの森につながり、多摩自然遊歩道と一体となった貴重な緑地である事を指摘した上で、次の様な事情についての質問がありました。

直面する水路が道路敷に変更された経緯(同じ日に偶然開発申請されている)

「おしゃもじ橋」の幅員は許可条件の4m以下の3.77mであることについて

「転売」広告の事実と当初からの予想

ガケ崩れや工事公害についての検討経過

許可後1年間未着工なことについて、など。

これに対し市側からは、法令解釈や手続き上のことから中心に説明がなされました。審議の結果、建設許可の取り消しはできないが、陳情内容を変更して「継続審議」する事で正・副委員長一任となりました。



内モンゴルでの植樹に参加 勝田政吾

4月末から5月初めにかけてモンゴルまで行って植樹をして来ました。

目的地は中国内蒙古自治区エジンホ口旗という所で、北京からフフホトまで飛行機で1時間半(約400km)そこからバスで6時間かかる黄河の中流域です。ゴビ砂漠の南に位置する半乾燥地域でご多分に洩れず、長年にわたる開墾と過剰放牧で砂漠化が進行して来た所で、中国政府の70年代以降の砂漠化防止植林計画の重点地区の一つになっています。現地は一面の黄砂地帯で、所々これまでの植林地帯が緑色のベルトになっているといった状態です。

たまたま私の所属している団体(NPO地球緑化センター)が13年前に植林をはじめた頃は、それこそ何もかも砂漠だったそうです。その当時に植えた樟子松は3メートル位に育っていて、生命力の強さを感じさせます。

一行は事務局・添乗員を含めて21名で、参加会員の平均年齢は61才でした。中国側は内蒙古大学日本語科の学生、現地の小学生それに現地職員という所で、日中混成の班に分れて共同作業です。苗は地球緑化センターの基金によるもので樟子松(6年もので60cm)500本。

まず地面に直径・深さ共60cm位の穴を掘る所からやったので仲々の労働量でしたが、半年ぶりの雨という事で粉糠雨が降り肌寒い位の気候だったので作業は大変捗り、炎天下の労働を覚悟していたので拍子抜けした位でした。

この活動の意義は全地球的な要請に加え、過去に日本の中国に与えた損害を少しでも償えればという所にあると思っています。その意味で若い元気な学生達と交歓できたことは良かったと思います。



今秋の活動予定

副会長 平林 謙三

猛烈な暑さだった今年の夏もようやく過ぎ、気持ちのよい風が吹く秋がやってきました。ソバの白い花も咲きそろい、いよいよ収穫の時期です。植樹祭・収穫祭をはじめ楽しい行事が盛り沢山。是非ご家族でご参加ください。

活動日と作業予定は次のようになります。作業時間は10時から12時までとなります。

10月3日(日) 草刈り、苗木・畑の手入れ

16日(土) サツマイモの収穫

11月6日(土) サトイモ・ソバの収穫、麦播き、植樹祭・収穫祭の準備

21日(日) 植樹祭・収穫祭

当日が雨天の場合は23日(祭)となります。

12月5日(日) からむしの移植、草刈りなど

18日(土) 草刈り、苗木・畑の手入れ

<注> 第2、第4水曜日に、追加の作業を行うことがあります。

植樹祭・収穫祭 みんなきてねー！！

日時;11月21日(日)9時~13時 雨天23日に延期

会場;麻生多摩美の森と多摩美公園で

植樹;低木を主体に

楽しい遊び;木の葉スタンプなど

収穫のお祝い 乾杯と懇談 焼き芋、

サトイモ入り豚汁(これ絶対美味しいよ!)

親睦会;会場片付け後(実費個人負担で)

広報編集室からのお知らせ

皆さんが大切に楽しんでいる趣味や活動・思い出などの発表・交流コーナー「わたしの部屋」を新設しました。投稿をお待ちします。連絡・投稿先

木村 信夫 044-954-7855

fwhp6921@mb.infoweb.ne.jp

森 正昭 044-951-1089

BYA15610@nifty.com